

平成 29 年度 第 3 回 市長と市民とのくつろぎトーク  
「市民の方には今の多摩市はどう映っているか」  
平成 29 年 9 月 24 日（日）10 時 30 分～正午  
会場：関戸公民館 第 3 学習室  
参加者：7 人（男性 5 人、女性 2 人）

#### 司会（秘書広報課長）

ただいまから市長と市民とのくつろぎトークを開催します。本日は皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

まず初めに市長と市民とのくつろぎトークについての説明をさせていただきます。

この事業は、在住、在勤、在学の市民の生の声を、様々な機会の中で、市長が直接伺い、政策への参考にしていくために実施するものであります。

平成 22 年度に「市長と市民との対話会」として始まり、市内の企業や大学、公民館事業の実行委員の方々など、多くの方にご協力いただき行ってまいりました。

本年度第 3 回目である今回は、市民の方を対象に無作為抽出と公募で参加者を募集し、市長と市民とのくつろぎトークと題して行います。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、市長から挨拶をお願い致します。

#### 市長

本日は、皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

昨日は、多摩市では「長寿をともに祝う会」をパルテノン多摩で行っていました。75 歳以上の市民とそのご家族の方が大勢集まり、大変に盛り上がっていました。午後 3 時から、東愛宕中学校で総合防災訓練もありました。毎年、災害に備えて各地域の中学校を使用して行っています。また、午前中は多摩第二小学校のグラウンドと校舎の建替えリニューアル後、初の運動会がありました。本当は、昨日行う予定だったのですが、雨天のため翌日延期で今日に振り替えられました。

本日は、市長と市民とのくつろぎトークということで、ざっくばらんに皆さんとお話が出来ればと思います。このくつろぎトークですが、昨年からスタイルを変えて、無作為抽出による選出とたま広報等での公募で参加者を募集させていただきました。

コミュニティセンターの行事に出向いたり、パルテノン多摩の大改修や緑のルネッサンスなど、テーマごとの説明会等にはよく顔を出させていただいたりするのですが、今日のように 2 時間じっくりと市民の方とお話させていただく機会は滅多にありません。自分としても、この対話会というのはとてもありがたい機会だと思っています。

まずは、自己紹介で、お住まいの場所、多摩市在住歴、参加のきっかけ、新聞を取っているかどうかをお聞かせいただければと思います。新聞についてお聞きするのは、基本的

にたま広報は新聞折込で配っているのですが、最近新聞を取っていない人も多いので、何か対策を考えないといけないと思っているからです。スマートフォンも普及する中で、どうすれば良いのか皆さんにもアイデアがもらえればと思います。また、話し合いたいテーマについても少しお聞かせいただければと思います。

\*各自自己紹介の概略（発言順）

- Aさん 地域：中沢1丁目、多摩市居住歴：18年
- Bさん 地域：豊ヶ丘5丁目、多摩市居住歴：25年
- Cさん 地域：一ノ宮2丁目、多摩市居住歴：1年
- Dさん 地域：関戸5丁目、多摩市居住歴：8年
- Eさん 地域：一ノ宮4丁目、多摩市居住歴：1年
- Fさん 地域：一ノ宮2丁目、多摩市居住歴：12年
- Gさん 地域：桜ヶ丘1丁目、多摩市居住歴：11年

**Aさん**

大学4年生です。多摩市に住んでから18年ほどになります。生まれたときは、違うところに住んでいましたが、物心ついたときには多摩市に移り住んでいました。新聞は取っています。たま広報も毎回見させていただいています。同級生に聞くと、たま広報を読んでいる人がほとんどのようです。やっぱり紙の媒体に加えて、若い人のよく利用する媒体でも読めるようにする必要があると思います。

**Bさん**

多摩市に住んで25年ぐらいになります。子どもとは、入学してから独り立ちするまで多摩市で一緒に過ごしていましたが、今は自分の手を離れました。現在、私はコミュニティセンターの理事をやらせていただいています。

多摩市は、自然発生的に人が集まって住み始めたまちではなくて、「こういうかたちで住もうね」というのを予め決めてから出来たまちです。聖蹟桜ヶ丘は、昔からあるので別ですが、永山も多摩センターもそうです。私が、サラリーマンで働いているときは気付きませんでした。いざ現役を離れると多摩市は坂が多い、商店街はつぶれる、何々がないと不便を感じます。しかし、それを逆手に取って、多摩市の特徴をこういう風に使ったら話を発展させていけたら、多摩市の良いところとして外にアピールできるのではないかと感じます。市や住民、店の人がアイデアを出していくことで、人を他所から呼べるようなまちに出来ると考えています。そのためには、若者と他所者と馬鹿者が必要だと思っています。馬鹿者は、思いついたことをあれやってみようと言う。余所者は、客観的な視点でそれを判断する。若者は、自分たちがどう考えたのかを出していく。この3人の力を取り

込むような仕組みを、市として進めてほしいと思います。「決められた計画だからやります」ではなく、多摩市をこういう風にしたいという想いを発信しないと市民は賛成してくれません。新聞は取っています。たま広報もよく読んでいます。

Cさん

一ノ宮に住んでいます。多摩市に住んで1年になります。出身は名古屋市です。元々は、縁もゆかりもないまちでしたが、結婚を機に多摩市に引っ越してきました。多摩市は、住みやすいまちだと感じています。たま広報については、ほしいと思っはいるのですが、毎回は手に入れていません。忘れることもあります、ヴィータに来たときに貰うようにしています。

市長

市の公式ホームページへはアクセスしていますか。

Cさん

子どもがまだ小さく、ゆっくり見られないのでアクセスしていません。

Dさん

日野市の百草園出身です。8年前に実家が近くにあるので多摩市に引っ越してきました。多摩市は、子育てがしやすいまちだと感じています。住まいは関戸にあります。新聞は取っていません。子どもがいるので、子ども新聞を取っています。たま広報は、申し込んだら届けてくれるということを知って、それからは読んでいます。子どもの情報が載っているので助かります。ホームページは見えていません。

生活の中で感じていることは、家から学校までの道で危険な箇所が多いということです。今日は、この点をできれば改善してほしいと思い参加させていただきました。

Eさん

一ノ宮に住んでいます。引っ越してきて1年程です。以前は、さいたま市に住んでいました。結婚を機に、妻が10年ぐらい住んでいた多摩市に私も越してきました。今年子どもが産まれましたので、子育て支援では市にお世話になっています。多摩市は、住んで1年なので、聖蹟桜ヶ丘周辺以外よくわからない状態です。今は、新宿に勤めています。新聞は取っていません。たま広報は、読んでいません。

市長

Eさん、多摩市を選んでくれてありがとう。

Fさん

多摩市在住 12 年目です。新聞は取っています。たま広報も読んでいます。仕事の関係もあり、行政のホームページについては全て見させていただいています。歳入歳出と言いますか、いわゆる税金について、今日はお聞きしたいと思い参加しました。ふるさと納税については、歳入と歳出に 10 倍近い差があるようですが、税金から全てが始まると思っていますので、そこについても市長にお聞きしたいと考えています。

Gさん母

今日は、息子が参加者なのですが、同席させていただいています。息子は 23 歳です。11 年前に世田谷から引っ越してきて、現在は桜ヶ丘に住んでいます。新聞とたま広報は読んでいます。今日は、市長さんに話したいことを本人が手紙にしてきました。

市長

ありがとうございます。Gさんは、「〇〇（就労継続支援 B 型事務所）」で働いているということですが、毎日働いているのですか。

Gさん

毎日働いています。

市長

楽しいですか。

Gさん

楽しいです。

市長

仕事はどんなことをやっているのですか。

Gさん

畑です。

市長

何を作っているのですか。

Gさん

じゃがいも、トマト、きゅうり、なす。

市長

作った野菜はおいしいですか。

Gさん

おいしい。

市長

手紙に書いてありますが、畑に水道がないのですか。

Gさん母

福祉農園を使わせていただいているのですが、多摩市が地元の方に借りている土地なので、勝手に水道を付けられないようです。また、木の枝があるのですが処分ができない状態です。

市長

農業と福祉の連携はとても大事なことです。どんどん進めていきたいのですが、多摩市には専業農家が少なく、多くは兼業農家です。生産緑地も日野市・稲城市に比べて非常に少ないです。多摩ニュータウン一帯は、一斉に開発して出来たまちのため、農地があるのは既存地区側がほとんどです。多摩市では、和田・連光寺・落川・百草などには畑が残っています。多摩市は、相当福祉に力を入れているつもりですが、そこについてはどう感じていますか。

Gさん母

福祉については、私たちは十分恩恵を受けています。息子は、体が元気なので大丈夫ですが、もっと支援の必要な方が他にいっぱいいると思います。息子は、コミュニケーションが上手に取れないところ以外は、割と何でも出来ます。地域の中でもっと仕事を頂きたいです。

市長

Gさん、おいしい野菜を作ってください。今度食べに行きたいと思います。

Gさん母

是非、食べに来てください。今日は、これで退席させていただきたいと思います。ありがとうございました。

市長

ありがとうございました。また、何かあれば市に言ってください。

(Gさん退席)

市長

多摩市は、地域の中で障害のある皆さんが暮らしていけるまちだと思っています。聖蹟桜ヶ丘にも障害のある方が地域の中で、自分らしく生活していくための相談や支援を行っている「の一ま」という支援センターがあります。特別支援教育にも力を入れています。また、多摩市では学校の担任以外に、ピアティーチャーを多く配置しています。これは他の自治体と比べても多いです。さらに、各小学校の図書館にも専任の司書を配置しています。教育・福祉の予算については、他市に負けないほど投入しています。これは、実際に利用されている方に話を聞かないと、なかなか比較しようがないのが難しいところですが。その他にも、学校を卒業してから地域で働く場や親亡き後の問題があります。そこについては、引き続き市内の障がい者就労施設等への支援や居宅生活の問題としてグループホーム等の整備を考えていますが、整備については施設の規模や条件にあった土地の確保の問題や地域での受け入れ態勢といった課題があります。そのあたりは地域で議論していく必要があると思います。私としては、「健幸まちづくり」を進める中で、90歳の半分以上の方が認知症になる実態があり、対策を進めていかなくてはいけないと考えています。認知症の方が暮らしやすいまちは、障害のある方にも暮らしやすいまちだと思っています。多摩市版地域包括ケアシステムでは、障がい者も高齢者も一緒にサポートしていこうという考えで進めています。

今、皆さんに話を伺っていて、Bさんからは多摩市のPRについて、Fさんからは歳入歳出を含めて、多摩市の財政がどうなっているのかということ。Dさんからはお子さんが小学生なので通学路の話など、色々ご意見を頂きました。まずは、Fさんの歳入歳出の件から話をさせていただきます。

毎年、3月議会に当初予算の提案を行います。毎年3月5日号のたま広報にも情報を掲載しています。平成29年度の予算積算では、一般会計554億8千万円でした。歳入のうち、市税が占める割合は約51%で、282億7490万円です。多摩市の場合、市税の大半は固定資産税、住民税、法人市民税、固定資産の償却資産です。

多摩市の6割は、ニュータウンエリアです。原動機を使用する一部の工場は建てられません。多摩市では、オフィス系統や集配センター、データセンターなどが多く建てられています。多摩市では、和田・東寺方エリアが工場を建てられる準工業地域に指定されていて、自動車整備工場の多くが集中しています。隣接する日野市は、自動車工場やコンピューターでもモーター動かして組み立てる工場が多いです。よく市民の方に、なぜ市長は多摩市に工場を持ってこないのかと言われるのですが、基本的に多摩市に工場は造れません。

造れるのは先ほどお話しした一部地域だけです。基本的に、多摩市はベッドタウンとして開発されました。

市税の多くは、市民の方から頂いた税金で成り立っています。一方、多摩市は普通交付税の不交付団体です。全国に1700自治体があるうち、国から普通交付税をもらっている団体が圧倒的多数の中、不交付団体は70程度しかありません。しかも、不交付団体の多くは、地域に多くの自前の工業団地があります。また、原子力発電所のような施設があり、国が交付税措置をしなくてはならないようなところが大半です。

多摩市のように、東京やその周辺には不交付団体が多いです。また、47都道府県で唯一、国から交付税をもらっていないのが東京都です。尚且つ、東京23区は、特別の地位にある団体です。26市で多摩市以外の不交付団体は、武蔵野市、三鷹市、府中市、立川市、小金井市などがあります。三割自治という言葉がありますが、多くの地方自治体は、交付税を国からもらわないとまちの運営が成り立ちません。多摩市はそれがゼロです。これは誇りに思っしてほしい。多摩市は貧乏な自治体ではありません。しかしながら、自立した自治体だからこそ、行財政改革を進めて、財産管理をきちんとしていかないとはいけません。考えなしに支出していると、歳出と歳入のバランスがとれなくなってしまう。国からの支援が受けられないだけに、行財政のところでは削るべきところは削る、子や孫の世代に負担を残さないという強い想いが必要です。

借金については、約150億円ほどありますが、毎年のように額が減っています。公債費負担比率は5.1%です。多摩市の借金額は、下から数えた方が早いです。私が市長になってからも、借金は年々減っています。また、多摩市の借金の大方は、かつてニュータウンをつくり、団塊の世代の方が大勢移住してきて、いろんな施設をいっぱい造ったときに出来た借金で、今はその残りを返済している状態です。そういうことを考えると多摩市は健全財政です。なかなか他の自治体と比較がしにくいのですが、さらにもう一つ言わせていただくと、岩盤がしっかりしているので企業のデータセンターの進出が非常に多いです。特に、多摩センター周辺や唐木田周辺はそうです。実は、データセンターは土地に掛かる固定資産税だけではなく、固定資産の償却資産税がパソコンで大きく掛かりますので、多摩市の歳入は市民一人当たりで換算すると26市でトップクラスです。住民税は、高齢化で生産年齢人口が減少していますが、減少分は企業から頂く税金で補えています。したがって、多摩市の場合は納めていただいた税金を教育・福祉など、市民の生活に充てることができています。また、文化・スポーツにも配分することができています。なぜ、多摩市がパルテノン多摩を維持できているかはそういう構造があるからでもあります。これからも市民の方に使っていただけるようにこれからもパルテノン多摩を維持していきたいと考えています。この辺の仕組みが非常に難しいので、どうしてもパルテノン多摩に80億かけるといって、多摩市は財政破綻してしまうのではないかと心配される方もいますが大丈夫です。20年後、30年後を見通しても全く問題はありません。

## Fさん

今の市長のお話を聞いて心配になりました。入ってくるお金に対して、歳出をして教育・福祉を充実させるというお話でしたが、30年後はどうなるのでしょうか。多摩市は、国から交付税をもらっていない健全な団体ということなのですが、多摩市財政が少し悪くなれば国から交付税がもらえるのですか。交付税がもらえないとなると住民税を直接払っている市民はどう感じるのでしょうか。法人にたくさん納めていただいているということですが、資本主義なので景気の良いときもあれば悪いときもあります。とても不安定です。そうすると今、多摩市が維持出来ている行政サービスが来年はわからないとも言えます。そうなったときに、安定した収入である固定資産税もなくなるかもしれません。そうなれば、住民税に目を向けなくてはいけないのではないのでしょうか。教育・福祉に力を入れることで、税を多く納めてくれる現役世代が定住して、財政が安定するのではないのでしょうか。そうした何十年先まで税金を納める方が住めば、確かに全体の歳入から見たらたいしたことのない財源なのかもしれませんが、安定した財源が見込めると思います。「今年も500億入ってきたから、これだけ使える」ではなくて、もしその財源が入ってこなかった場合の対応はどうなっているのでしょうか。今年の職員給与の平均が、全国ベスト5以内に入るぐらい高いという結果が出ています。そのことを議会で発言されている市議もいます。このことだけを追求するわけではないのですが、お金があるときにはそれなりに使い方も色々あると思いますが、本当に困窮してなくなってしまったときの対応はどう考えているのでしょうか。細かい話ですが、ふるさと納税によって税収が1億円ほど流出していると聞きました。市の公式ホームページをよく見させてもらっているのですが、他の自治体はすごい努力をしていると感じました。多摩市にそれだけ魅力のある返礼品があるかという点、確かにサンリオピューロランドぐらいで特産物もありません。行政からしたら、500億円に対する1億円なのかもしれませんが、多摩市の努力が申し訳ないですが見えてきません。その1億に対して、市がどのように努力をしていくかという姿勢を示していただかないと、500億円の歳入が50億円になった時に、多摩市はどういう努力をしていただけなのか、そういうところが不安になりました。

## 市長

ふるさと納税については、私は仕組みに問題があって抗議をしている側です。市としては、止めてもらいたいと思っています。特に、東京都においてはどこの自治体も苦しい状況です。東京都では、マグロも取れませんし、牛肉も取れません。いくら頑張っても多摩市だけではなく非常に厳しいです。ただし、多摩市は東京都の中ではふるさと納税を多くご利用いただいています。ふるさと納税では、サンリオピューロランドと日本アニメーションなどにご協力いただいています。また、多摩市のふるさと納税の返礼品は、市に来ていただくことを重視しています。昨年は歳入が1千2百万円でした。実は、1千万円超えるのは大変なのですが、焼け石に水といった状況です。他の自治体では、国分寺市とか町

田市は地場の生産物やケーキ、クッキー、お酒などを返礼品としている自治体もありますが、多摩市がこだわっているのは、多摩市に来ていただき、お金を多摩市に落としていただくというところです。返礼品の多くは、多摩市に来ていただくのを条件にしています。多摩市に来ていただくことで、ホテル・レストランなどを利用してもらい、寄付金以上に市に貢献していただいています。桜ヶ丘カントリー関連の返礼品も増やしました。

#### Fさん

一地方自治体が、国の制度を変えるのは難しいと思います。企業の税収というところに振り回されてしまうことになったとき、多摩市そのものの力、行政職員の手腕が問われるのではないかなと考えています。

#### 市長

結局リーマンショックや証券会社のショックなどの世界規模の景気変動があると、サラリーマンも公務員も同じですが、給与そのものが削減されます。私も市長になる前は、新聞の世界にいました。特に、賞与については激減しますので一気になくなってしまうということをお自身経験しています。そうすると住民税そのものも下がっていきます。ただし、多摩市の場合、工場とかに依拠しているわけではありません。多摩市にデータセンターを置くのは東西の企業群にとっては震災対策です。言ってみれば、その部分での変動はあまり大きくないのではないかと考えています。世界規模の何かが起きたら、もちろん多摩市も変化があります。だからと言って、急に交付税がもらえるようになるわけではありません。ただし、多摩市としてはバランスよく税収については頂いていくというのは、これからもしっかり模索していきたいと考えています。どんな状況になっても、多摩市にいて良かったと言われるような自治体を目指していきたいと考えています。リスクヘッジをどう取っていくのかというのは当然考えるべきことです。このまちは危ないから別のところに行こうとならない自治体を目指していますので、そこについては、行政の職員も奮闘して頑張っていると思っています。

#### Bさん

Fさんが、ご心配な点は私もよくわかります。同じものを見ても、心配性の人と楽観的な人では考え方が分かれてしまいます。私は、心配性の方には「その弱みを強みに変えるのは何ですか」といつも言っています。私はそれを強みに変えないといけないと思っています。「自分は、多摩市のここが弱いと思うのだけど、こういう風な改善案はどうだろうか」と言っていないと、良い方向に変換していかないのではないのでしょうか。これも悪い、あれも悪いしか言わない状態だと解決しません。変なストレスとして溜まるだけです。こういう街で、こういう弱みがあるからこそ、どうやったらそれを強みに変えられるのかという発想にできるだけ変えていく、というのを自分のテーマとしています。そう考えると、

多摩市は階段が多くて年寄りには大変。逆に言うと、だからこそ運動になって、平均寿命が延びて、健康寿命が東京都で一番高い自治体になっている。私も現役世代のときは、ここが良くないからどうになってしまうのかという考えだった。確かに弱みも多いけど、その弱みを強みに変えていきましょう。そのために自分の経験を活かしてアイデアを出していく。自分だけでは出来ないから皆さんのアイデア聞く、ここはそういう場だと思っています。

#### 市長

私も市長になる前は、Fさんのような考えを持っていたときもあります。出来るだけ多摩市の強みを外へ発信しながら、市民の方にわかりやすく説明していかなくてはならないとは思っています。なかなか言葉が難しいのと、自治体は企業と違って単年度予算・単年度決算なので、単年度の収入が消えてしまうように見えてしまうことがあります。実は、そうではなくて、それぞれ基金に積み立てていて未来への投資もすごく大きいです。特に教育関係は、ほとんど未来への投資です。よく議会にもリターンはどうかと言われるのですが、リターンはまさに未来への投資で、30年後、40年後の日本を支えてくれる人たちに対する投資です。同じように、健康・福祉も予防に関する部分は未来への投資です。医療・介護・福祉の連携の中で、医者や看護師、薬剤師が常に連動して、地域に顔が見えるように徹底してやっています。そうした中で、どうしても歳出の部分で一番大きいのは民生費です。高齢化で医療・介護・福祉に掛かる税が多くなってきています。

ポジティブに考えるという話をいただきました。5階までエレベーターがないことで足腰が強くなる。バス停に行くにも階段があつて毎日続けることで、多摩市はトップクラスの健康寿命です。大事なことは外で体を動かすことです。既存地区は少ないですが、公園もいっぱいあります。宝野公園でラジオ体操があり、1千人以上の方が集まりました。多摩市には潜在的な力があります。もしもの事態については、予防できるところはしていきたいと考えています。

#### Bさん

健康特区とか思い切ったことをやって良いと思います。そうすれば、多摩市の良さが伝わります。歩く人が多くなれば、子どもたちとも交流ができて、子どもたちの安全対策にもなります。歩くことが楽しくなるまちになればと私は考えています。

#### 市長

ありがとうございます。

それでは、次にDさんからお子さんの通学路での話をお聞きしたいと思います。

#### Dさん

子どもの通学路が旧鎌倉街道を通ることになっているのですが、歩道が狭く、ガードレールも少ない。また、路線バスも通るので子どもの危険を毎日感じて学校に送り出しています。この件については、小学校の「子ども110番」を通して危険場所を提案しているのですが、多摩市からは、「回答済み」とか「対応困難」と返答がきます。私だけではなく、旧鎌倉街道については、心配な保護者が多いと思うのですが、あまり改善されません。どこに言えば改善されるのでしょうか。ガードレールを設置する、駄目なら赤いポールを付ける、歩道の色分けをするなど対応をお願いします。

市長

実際に厳しいのはどのあたりですか。

Dさん

〇〇のあたりから大栗橋へ続く道です。駐車場にするためにガードレールが撤去されてしまったところもあります。また、路上駐車のある車があると、子どもが車道に出ていかなくてはいけないところもあります。大人は大丈夫ですが、特に1、2年生の低学年の目線で見ると、注意が散漫で飛び出してしまう恐れがあります。一本ポールがあるだけでも違うと思います。旧鎌倉街道は、スピードを出す車が多く、保護者からも危険な場所と認識されています。ただ、私が見てもガードレール設置が難しいと思うところも多いです。

市長

旧鎌倉街道は、多摩市の中では数少ない旧市街の道です。駅前に抜ける細い道は、バス通りになっていますが同じように狭いです。

逆に、ニュータウンにお住まいの方には、学校に行くのに歩車分離なので、車の心配を全くせず歩くことが出来ます。私も既存地区側に住んでいて、多摩第二小学校の近くの道で、家を出た途端道路があります。既存地区側は、子どももかなり気をつけて歩いています。

おっしゃるとおり所有者が駐車場をつくとガードレールが作れなくなります。確かにどうしたら良いのか難しいところです。道路を広げることは、昔ながらの住宅やマンションがあるので無理です。今は、見守りとかで保護者の方にもご負担をお願いしています。

Dさん

多摩市では、過去3年で2人、小学生が亡くなっているのが、保護者も敏感になっています。スクールゾーンで、緑に色分けだけでもしてもらえると良いのですが。バスは注意してくれているとは思いますが、毎日祈りながら送り出しているような状況です。

市役所にも何度も出向いたのですが、たらい回しというか。

市長

たらい回しと言うよりは、市でも具体的な方法がなかなかご提案できないのだと思います。

Bさん

旧鎌倉街道は都道ですか。

市長

そうです。

Bさん

それだと難しいでしょうね。

Dさん

結局、それで改善もなく何年も経ってしまいました。上の子は高学年になったので、少し安心なのですが、下の子がまだ低学年なので心配です。私の子どもが大きくなっても、その後も小さい子がまだいるので、問題が続くのかなと思っています。

市長

確かに、市道ではないので難しいところがあります。東京都からすると比較的安全な都道と認識されていると思います。先ほども少しお話しましたが、下町とかはもっとひどいところがいっぱいあります。旧鎌倉街道が安全ということではなく、おそらく東京都からすると優先順位がすごく低いのだと思います。

Bさん

住民から見ると優先事項でも、行政から見ると優先順位が低いということがあります。そこが常に悩みの種にもなっています。

市長

Dさんや保護者の方のお気持ちは良くわかります。

Fさん

新大栗橋の交差点は、すぐ変わりましたが、あれは東京都ですか。

市長

あれは信号なので、一義的には警視庁です。道は都道です。

Dさん

旧鎌倉街道のところは改善しないので、どこにお伝えすれば良いのかなと思ひまして。

Bさん

スクールゾーンに出来ないのですか。

市長

メイン道路なので難しいです。

Bさん

通ってはいけないではなく、登下校時間は速度制限をとかも難しいのでしょうか。

市長

スクールゾーンは、許可を得ている車両以外は通行できなくなります。バスもタクシーも通れなくなります。

Dさん

色分けも難しいのですか。歩道を緑色に塗るとか。それでも少しは注意してくれると思うのですが。

市長

東京都がどう考えるかによります。

企画政策部長

夏に保護者と学校等で危険箇所がないか確認をしています。危険箇所は、毎年学校支援課を中心に道路交通課や公園緑地課、東京都、警察が入って出来る対策を行っています。旧鎌倉街道が改善しないのは、何をどうすれば良いのか策が厳しいからだと思ひます。他の道路でグリーンペイントをしたところもあります。今回ご指摘の場所もそのようにできるのか、有効なのか考える必要があります。具体的に何が出来るかということが大事で、大栗橋の交差点も具体的に信号を変えるという策があったから出来たのだと思ひます。今回のところも何が出来るかを見出すのが大事です。

Dさん

もし、何かわかったら教えてください。

企画政策部長

はい

市長

東京都はすごい数の道路・河川を所有しているので、その中で特定の道路にグリーンペイントをするのも大変な状態です。多摩市内にも都道がいっぱいあります。ご心配なことは、私もわかります。子どもが安心して通学できる環境に関しては、既存地区は難しい状態ということは理解しています。難しい状態ですが、他の自治体に比べると、まだ大丈夫と東京都には見えているのだと思います。

それではCさん、ご発言をどうぞ。

Cさん

私は、聖蹟桜ヶ丘に住んでいるのですが、お話を聞いていて、多摩センターで働いているので、パルテノン多摩が維持できる仕組みが聞けて良かったです。多摩市でマンションを買ったので、ずっと住んでいく予定ですが、これからも多摩市に住み続けたいと思いました。子どもが3歳で、ここで子育てしていくのだと思うと、不安に思うこともあります。皆さん真剣に取り組んでいることがわかって良かったです。欲を出すなら、多摩センターは魅力があるのですが、聖蹟桜ヶ丘近辺はあまり魅力がないように感じます。ふるさと納税では、他所の人に多摩市に来てもらうということでしたが、「耳をすませば」のロケ地というのはありますが、花火大会はなくなってしまいました。もうすこし魅力があればと感じています。

市長

花火大会に代わる「せいせきみらいフェスティバル」については、地元や商店街の協力で今年は400発打ち上げる予定でしたが、台風で中止になってしまいました。開催費用は、地元の協賛や往来の人からの募金で300万円集まりました。不発となった花火の費用は保険が適用されました。多くの支援や声援に応え、来年もやろうということで実行委員会が頑張ってくれています。以前の花火大会が中止になったのは、天候不良の時に多摩川の河川敷に20万人も集まると危ないという判断があったからです。

一ノ宮公園、関戸1丁目のあたりは、聖蹟桜ヶ丘北地区再開発計画というのを進めています。区画整理事業です。すでに計画は動き出しました。市でも一ノ宮公園の手前の旧市営住宅の跡地があり、ここは公園にする予定です。また、去年は土手に仮設の階段を一基つくりました。これは、普段は撤去させておいて、イベントをやるときに掛けるということで考えています。予算を掛けて昨年つくりました。そうしたことを踏まえて、去年のイベントでは宅2万5千人、花火打ち上げ時には8千人来ましたがかなり大変でした。会場内外での警備員の問題など、この辺がクリアできればもっと多くの花火ができるようにな

ります。過去の規模で花火大会を行うと、休止期間中の平成25年時点での試算では、4千万円を超える多額の費用を投入しないとできません。開催費用の財政的な負担は、どこの自治体も悩んでいます。また、以前花火大会をやっていたときは、翌日のごみの山がすごい状態でした。そういうこともあり、地元商店街としては、花火大会をやることについて賛否両論のご意見があります。翌日5時から、多摩中の生徒も含め皆さん頑張っでごみ拾いをしていただいています。が、ごみの量が尋常じゃありません。費用の4千万円は、大会を運営するために必要なガードマンの費用が大半です。花火大会の開催は、シティセールスにもなりますし、多摩市の象徴の一つだと思っています。市民の方で1千万円ぐらい集めることができれば、市も足りない分を出せると思っています。かつては大きな企業も1千万円単位で費用を出していただいていたいました。

聖蹟桜ヶ丘地区については、今いろいろと進めています。桜という名前なのに、なぜ川崎街道沿いに桜がないのかと不思議に思われると思いますが、市道にしか桜がないのです。聖蹟桜ヶ丘のマンホールの蓋のいくつかは、「あらいぐまラスカル」になります。多摩センターは、「ハローキティ」になります。楽しみにしていただければと思います。聖蹟桜ヶ丘の魅力向上については、これからも頑張っていきたいと思っています。

**Bさん**

多摩市は、ヤマザクラを市の花にしているのだから、もっと魅力を広めてほしいと思います。桜の名所としては、聖蹟記念公園の桜がとてもきれいです。各地に結構有名な桜の木があります。唐木田のしだれ桜とか。あまり目立ってなくて、多摩市民にもあまり知られていません。

**市長**

今おっしゃっていただいたのは、鶴牧西公園のしだれ桜、唐木田百本しだれのことですね。宝野公園も敷地の両脇が桜でいっぱいとてもきれいです。晴れていれば、富士山も見えます。多摩市内には、いろいろな名所があります。是非巡っていただければと思います。

それではAさん、ご発言をどうぞ。

**Aさん**

ずっと多摩市に住んでいて、多摩市はすごく魅力がたくさんあって、これからずっと住み続けたいと思っています。もったいないのは、魅力がたくさんあるのにそれをアピールしきれていないことです。知り合いに聞いても「多摩市ってどこ」と聞かれて、「多摩センターがあるところ」と言ってもあまりピンときていない様子です。「サンリオピューロランド」と言うとうまく「ああ」と言った感じでした。「多摩市」「多摩ニュータウン」と言

って思いつくものがあるとするば、古い団地とか悪いイメージが先に来る人も多いと思います。私が考えているのは、京王線や小田急線の電車内のテレビモニターで、多摩市のアピール動画を流すということです。また、奇抜かもしれませんが、「ブラタモリ」で多摩市や多摩ニュータウンを特集してもらうとかも良いと思います。そういうものを通じて、多摩市に良いイメージを持ってもらうのが大事だと思います。

市長

良いご提案ありがとうございます。現在、多摩市若者会議というのをやっています。

Aさん

実は参加させていただいています。

市長

本当ですか。ありがとうございます。

Aさん

先日、公園の活用方法ということで発表させていただきました。そのときも魅力について話をさせていただいたのですが、あるのに使えないというのはもったいないなどよく感じています。

市長

多摩市に住んで一年というEさんは、実際に外から見て多摩市の魅力などについてどう感じていましたか。

Eさん

観光資源については、わかっていませんでした。今年、府中市は桜が綺麗らしいという話を聞いて、見に行っただけです。

市長

多摩市のさくらまつりはご存知ではないですか。

Eさん

やっているらしいというのは、駅前を歩いて気付きました。あと、多摩センターでもやっているらしいというのを聞いたのですが、どうにも足が重くて電車で簡単にいける府中市に行ってしまうました。さっきのお話を聞いていて、どうも聖蹟桜ヶ丘は便利な反面、府中市とか八王子市へのアクセスが良いのでそっちに行ってしまうます。自分も多摩市に

お金を落としていないなと思ってしまいました。

**Bさん**

街として魅力があるかとは別に、商品を買うぐらい魅力があるかという、どうしても府中市や立川市に負けてしまいます。基本的にこういうのは競争です。地元の商店街とかで上手くイベントにつなげることが大事だと思います。さくらまつりのときに、聖蹟桜ヶ丘と永山で上手く多摩市をガイドする。多摩市に来たら、他では見られない桜が見られますよと。それだけでも「多摩市ってこんな桜のきれいなところがいっぱいあるのね」「府中市にも負けないね」って思ってもらえることができるのではないのでしょうか。そういうガイドをする人を集められれば良いのですが、そういうことを出来る人はなかなかいないんですよ。

**Eさん**

多摩市に引っ越すという話をしたときに周りに言われたのが、「ごみ有料なんですよ」とか「子どもの医療費助成に所得制限がある」とか結構マイナスなイメージ多摩市に持っているのだなと感じました。実際に来てわかったのは、ごみ有料とはいっても周りの自治体より安いということでした。無料の自治体に住んでいたのに、有料なのかとは思いましたが。

**市長**

これは、「三多摩格差」ってよく言われるのですが、多摩市の場合は独立した自治体で、下水道も自分たちでやっていますが、23区は下水道も上水道も清掃も東京都がやっています。私も昔は霞ヶ関に出稼ぎに行っていたのですが、そうすると法人市民税は向こうに行ってしまいます。本当は、多摩市に住んでいる人が働くのだから、多摩市に還元できるシステムをつくらないといけないのですが。23区に比べると医療費が掛かるという話だとは思いますが、三多摩地域は、それぞれ自治体として頑張っています。先ほど、Fさんがおっしゃっていたのはそういうのもあるのかもしれませんが、なぜ、23区で出来ているのに多摩市で出来ないのか。そういうわかりにくい部分があります。

**Eさん**

若い人とか、現役世代の人は、不便だったら出て行けば良いと考えています。定住してもらうための施策がやはり必要になってくると思います。

**市長**

そうですね。一時期、待機児童ゼロということで横浜市や川崎市にかなり人が流れましたが、一方で学校給食のことを考えると断然多摩市のほうが良い環境です。中学校の給食

もおいしいです。横浜市は中学校給食がないですからね。中学校はお弁当です。そういう風に考えると売り出すメリットがあるのですが、確かにPR下手というのがあります。そこは頑張っていきたいなと思っています。子どもの医療費も頑張っていきたいと思っています。全体のバランスを見てやっていきます。

公務員給与については、多摩市だけが高いわけではありません。たまたま多摩市職員の平均年齢が高いということで、上位に位置していますが、実際のところの賃金で比べるとそんなに他市と差があるわけではありません。平均年齢は、段々落ちていきますので、今後を見守ってほしいと思います。

Fさん

市の公式ホームページはどなたが作られているのでしょうか。

秘書広報課長

システムそのものは委託契約です。各ページについては、それぞれの課でコンテンツマネジメントシステムというのを利用して職員が作成しています。

Fさん

神奈川県、東京都の自治体のホームページは、1週間ごとに全部見ますので、いろいろと頑張っていただけだと思います。

市長

今回リニューアルして、見やすくなった部分とまだまだの部分があると思います。何かあれば、いつでもご指摘いただければと思います。

ホームページ関連では、ニュータウンに限定した「丘のまち」というホームページがあります。やわらかくつくっているのが皆さんも是非見ていただければと思います。

Aさん

多摩ニュータウンに重きをという話ですが、最近の更新を見たら聖蹟桜ヶ丘を取り上げていて、その辺の配分はどういう感じなのでしょう。多摩市をアピールするものなのかニュータウンをアピールするものなのか。

市長

あれは、ニュータウン再生というところからできたホームページです。多摩ニュータウンという稲城市・町田市・八王子市も入ってきますが、多摩市では、多摩市を焦点に、聖蹟桜ヶ丘など、いろいろなところに焦点を当てています。

#### 秘書広報課長

仮に、ニュータウンエリアに住んでも、生活はそこだけでは完結しないだろうと思っています。もっと広域の情報も伝えていくことで、市内を楽しんでいただくということでニュータウン地域以外の記事も入れています。

#### 市長

皆さん、今日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございました。これからも多摩市が全国に誇れるまちになるように頑張っていきたいと思っています。私自身は今もそう思っています。皆さんからも多摩市に何かあればいつでも言ってください。これからも多摩市をよろしく願います。